

〔古事記傳九〕稻種五品の中に此のみ種と云るはいかにと云にまづ下に成種とあるを以見るに、此に生れるは五品ながら其實なり、然るに餘の四品は、種と云ねど、おのづから實のことなるを、稻は伊禰とのみ云ては、穗に在時の名にして、實とは聞えず、莖ながら生たる如聞えて、まざらはしければなり。

〔日本書紀五崇神〕七年十一月、疫病始息、國內漸謐、五穀既成百姓饑之、

〔延喜式八祝詞〕龍田風神祭

龍田爾稱辭竟奉皇神乃前爾白久志貴島爾大八島國知志皇御孫命乃遠御膳乃長御膳止赤丹乃穗爾聞食須五穀物乎始氏天下乃公民乃作物乎草乃片葉爾至万ナラザルコトヒトセフタトセ氏不成一年二年爾不在○下略

〔江家次第三正月〕御齋會竟日

南榮作棚居五穀以白布覆之左右各十一坛

〔執政所抄六月〕十五日祇蘭御幣神馬事○中

五穀四斗五升各九升 稻 大豆 小豆 大麥 小麥 已上政所出納備進之

〔書言字考節用集十數量〕六穀稻黍稷粱麥瓜

〔書言字考節用集十數量〕八穀稻黍稷粱麥瓜

〔大和本草二數目〕八穀 稻黍大豆、小豆、大麥、小麥、粟麻紺珠日本紀神代卷三稻麥大豆粟稗ヲ記ス、是上古ヨリ我邦ニ所在也。日本紀欽明天皇十二年、以麥種一千斛賜百濟、可見自上世有此種也。

〔書言字考節用集十數量〕九穀稻黍稷粱麥大豆

〔拾芥抄下未飲食〕九穀 稻 黍 米 荚 麻 大豆 小豆 大麥

〔大和本草二數目〕九穀 稻、黍、黍稻麻、大小豆、大小麥周禮鄭玄註

〔日本書紀二十四皇極〕元年八月甲申朔天皇幸南淵河上跪拜四方、仰天而祈、即雷大雨、遂雨五日、溼潤天